



高等学校の学習評価について

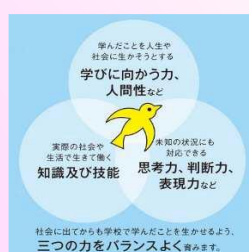
学校が学習評価として、成績（評定等）を付けるにあたっては、生徒一人一人のよい点や努力している点、成長している点、改善すべき点等を見とり、生徒が自らの学習を振り返って、新たな目標や課題、学習したことの意義等を実感できるようにすることを大切にしています。

学校では、学習指導要領に示された目標に照らして、その実現状況を評価していきます。

○ 新学習指導要領（令和4年度入学生から実施）のポイント

中学校と同じように、高等学校の学習指導要領においても、新しい時代を生きる子供たちに必要な力（「資質・能力」）を「三つの柱」として整理しました。

- ① 実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」
- ② 未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」
- ③ 学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」



○ 観点別学習状況の評価の観点

各教科・科目等の目標及び内容が資質・能力の「三つの柱」で再整理されたことを踏まえて、各教科・科目等における観点別学習状況の評価（以下、「観点別評価」という。）の観点についても、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に整理されています。

（評価の観点）

（評価の考え方）

知識・技能

- ・知識及び技能の習得状況について評価します。
- ・他の学習や生活の場面でも活用できる程度に理解したり、技能を習得したりしているかについて評価します。

思考・判断・表現

- ・知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価します。

主体的に学習に取り組む態度

- ・自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価します。

Q 高等学校の学習評価は、どのように行われるのですか。

- A ○高等学校においても、中学校と同じように「観点別評価」と「評定」で行われます。
- 「観点別評価」は、各科目の目標に対する達成度を3観点ごとに評価します。
 - 「観点別評価」の結果は、「A・B・C」の記号で記されます。
 - 「評定」は、各科目の目標に対する達成度を総合的に評価したもので、学年末においては、「5段階」で評価します。

Q 学習評価は、どのように通知されるのですか。

- A ○高等学校においても、中学校と同じように、学期ごとに通知表によって、生徒・保護者へ通知されます。
- 通知表の様式や取扱いは学校によって異なりますが、下図は通知表のイメージです。
 - 「観点別」の欄は、左から「知識・技能」（主として職業に関する科目については「知識・技術」）、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」となります。

Q 「観点別評価」の実施に伴う、学習評価のポイントは何ですか。

- A ○生徒の成長や発達が多面性を備えているということです。
- そのため、学習評価にあたって「観点別評価」のそれぞれの観点に関連していることにも留意し、生徒の学びを多面的かつ総合的に評価します。

○ 通知表のイメージ

教科	科目	単位	1学期		
			観点別	評価	欠課時数
国語	現代の国語	2	AAA	5	1/25
国語	言語文化	2			
公民	公共	2			
数学	数学I	3			
数学	数学A	2			
理科	化学基礎	2			
理科	生物基礎	2			

- 教科名
- 科目名
- 単位数
- 観点別
- 評価
- 欠課時数

※通知表の様式は各学校で異なります。

保護者の皆様

通知表を受け取りましたら、成績（学習評価）の状況を踏まえ、達成できたところはほめて伸ばし、課題があるところは今後どのように学習していくかをお子様と一緒に考え、次の学習への自信や意欲につながられるよう、御協力をお願いします。